

## みかわ牛のPR活動が本格的に動き出します

みかわ牛マスコットに向けて、具体的な動きが始まりました。まずはマスコットキャラクター作りに取り組み、動物科学部の中で集まったアイデアをまとめ、1つのキャラクターが誕生しました。見ただけで、「みかわ牛のキャラクターだ」と分かるようなキャラクターにすることを目指しましたが、この段階ではまだその領域へは到達しません。「Yあいち経済連の方にも相談し、アドバースをいただきながら、より磨きをかけたデザインにしていくことになりました。

また、この動物科学部通信のように、多くの人に内容や取り組みを紹介する広報紙を作ること、みかわ牛や畜産業に関わる機会のない方にも知っていただけの機会を作るのではないかと考えました。動物科学部通信のように月に1度とはいきませんが、何かイベントやお知らせがある度に発行していきたいと考えています。第1号を完成させ、第2号の製作に向けて準備をしていきます。私たちが作ったみかわ牛便りは、その月の動物科学部通信と一緒に学校エポへ掲載していきますので、ぜひご覧ください。

また、みかわ牛エポについても学校エポ内で紹介していますので、そちらもぜひご覧いただき、「みかわ牛」という愛称が誇る和牛ブランドを知ってください。



↑キャラクター(案)とみかわ牛便り

## 黒豚トマトプロジェクト 血液検査を実施

実験2として、今年度は規格外トマトが黒豚の肉質に及ぼす影響を調査しています。現在も実験が進行していますが、毎日動物科学部の生徒が交代で朝夕2回、規格外トマトを黒豚に給与しています。実験開始からもうすぐ1か月になるころ、血液検査を実施しました。トマトの代表的な栄養素である「リコピン」が、トマトを給与する試験区と、給与しない対照区で、どのように豚の体内で変化するかを調査することが目的です。

採血はあかばね動物クリニックの獣医師に依頼し、豚の保定は生徒が行いました。今は血液の分析ですが、出荷したときには、豚肉の栄養価にどんな変化があるかを調査していく予定です。リコピンには強い抗酸化作用があり、がん予防や血流改善など、健康に良い影響があると言われています。トマトを食べた豚

の豚肉に、たくさんさんのリコピンが含まれるとすれば、その豚肉は、「食べて健康になれる豚肉」にできるのかもしれないかもしれません。今後とも給与および調査を続けていきます。



## 今年度もヒナがきました

毎年5月にやってくるヒナが今年もやってきました。

今年度は、白色レグホーン種ロードアイランドレッド種、名古屋コーチンの3品種を導入しました。生まれた次の日にやってきたヒナは、まだふわふわの羽根の状態でも小さかったのですが、日にちが経つほどにどんどん成長し、今では元気に育すう器内を走り回っています。1年生の「農業と環境」の授業の中で、ワクチン接種やデビークが進んでいます。もう、ふわふわの羽根から生え変わって、少しずつですが鶏に近づきつつあります。このまま順調に発育し、少しでも早く卵を産み始められるといいですね。

